



参考資料2

東京2020大会 暑さ対策の検討状況

公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

2019年6月27日

(承前)

- 本資料は、東京都、国、IOC、IPCなどと協議しながら進めている2019年6月末段階の東京2020大会における暑さ対策の検討状況を説明する資料です。
- 暑さ対策は多岐にわたるだけに、現時点で完全な形を示すことには至っておりませんが、同時に試行を繰り返しながら、ブラッシュアップすることも大切であると考えています。
- こうしたことから、今回の公表に当たっては、未だ検討中のものも含めてお示しし、具体的な議論を進めるとともに、この夏のテストイベント等で試し、会場毎の必要箇所や必要量を検証して、来年の本番を迎えることを考えて作成しています。
- したがって、この資料の中には、来年の夏にもっと充実した形になるものもあるかもしれませんし、逆に別の形で実現するもの、実現できないものなど、これも会場毎に色々出てくると考えております。その点をお含み頂きたいと考えています。

暑さ対策検討の全体方針

1 東京2020大会に向けた暑さ対策の全体像 ⇒対象者ごとに、場面ごとにきめ細かく

2 対象別の暑さ対策

(1) 観客向けの暑さ対策

⇒高齢者や子ども、障がいのある方、外国人への対応

(2) 大会ボランティアを含む大会スタッフ向けの暑さ対策

(3) アスリート向けの暑さ対策

3 今夏の新たな取組み

(1) 『暑さ対策』のテストイベント

(2) 今夏の訪日外国人に対する試行

(3) アイディアソンと甲子園の視察

(4) Tokyo 2020 COOLINGプロジェクト

(5) 公式ライセンス商品 暑さ対策商品の販売



大会運営全般で全体を漏れがないように、きめ細かく検討していく。

2

TOKYO 2020

1 2020大会に向けた暑さ対策全体像 《検討体制》

組織委員会

観客向け

会場・施設面

運営(予防/救護)面

情報提供・注意喚起面

大会ボランティアを含む 大会スタッフ

会場・施設面

予防運営・基準設定

事前研修・自己管理

選手向け

NOC/NPCに対する
気象情報の提供

競技会場・選手村
等での施設、備品

競技スケジュール
策定上の配慮

有識者を含めた協議検討

IOC・IPCとの連携協議

東京都

- 都が整備する8会場の暑さ対策
- ラストマイルや路上競技沿道等における観客向けの暑さ対策
- マラソン沿道等の暑さ対策
(舗装や緑陰確保等)
- 路上競技コース、競技会場周辺舗装
- 外国人患者への医療・情報提供体制の整備
- 熱中症に係る広報 等

国・関係府省庁

- 競技会場（新国立競技場）等の暑さ対策
- マラソン沿道等の暑さ対策
(舗装や道路緑化等)
- 夏季イベントにおける熱中症対策ガイドラインの検証
- 多様な情報発信の実施 等

会場自治体

会場所在自治体での暑さ対策の
検討実施

3

TOKYO 2020

1 2020大会に向けた暑さ対策全体像 《総括表》

	観客	大会関連会場を含む大会スタッフ	選手
施設設備	<ul style="list-style-type: none"> 日除けスペース・冷風機 体調不良の方用休憩所 	<ul style="list-style-type: none"> ダイニングエリア 休憩所 	<ul style="list-style-type: none"> アスリートラウンジ 選手用休憩所
日射遮蔽設備の配置検証			
飲料供給	<ul style="list-style-type: none"> 飲料販売 ペットボトルの持込み検討中 (一定の条件下) 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料提供 飲料販売 給水 	飲料提供
飲料供給強化			
予防運営	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な声かけ スポーツペレグリネーション等注意喚起 予防啓発うちわ配布 ストレス軽減 朝顔のフラワーレーン 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な休憩の取り方 休憩管理ブック活用の検討 警備員のサングラス着用 	<ul style="list-style-type: none"> 競技スケジュール 競技中断、中止基準設定、水分補給に関するルールのIFとの連携協議検討 アイシング用氷
適切な休憩の取り方			
救護運営	<ul style="list-style-type: none"> 観客用医務室 救急車 ファーストレスポンサー巡回 	<ul style="list-style-type: none"> 観客用医務室 救急車 	<ul style="list-style-type: none"> 選手用医務室 救急車 医療用アイスバス検討
体調不良者一次対応	救護所等の設置		
情報提供	大会Webサイト	共通事前研修等における理解促進	IF/NF、NOC、NPCを通じた発信
注意喚起	<ul style="list-style-type: none"> モバイルアプリ CRM/チケットメール 観客ガイド 啓発リーフレット 		
外国人への啓発情報発信			
			オレンジ部分は今後検討強化が必要なテーマ

4

TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【全体イメージ】

施設設備	来日時	ラストマイル	入場 (PSA周辺)	会場内 (FOH)	会場観客席
		<ul style="list-style-type: none"> ミスト 休憩所 救護所 熱中症予防の注意喚起 	<ul style="list-style-type: none"> 日除けスペース 冷風機 朝顔の フラワーレーン 検査用袋配布 	<ul style="list-style-type: none"> 日除けスペース 休憩所 	
飲料供給				飲料販売	
予防運営			ストレス軽減のためエンターテイメント 携行型ミスト噴霧		
救護運営				注意喚起呼び掛け	
情報提供 注意喚起				ファーストレスポンサー (AED・アイスパック携行) 巡回・声掛け	
				観客用医務室・救急車	
				熱中症啓発リーフレット	
組織委員会公式Webサイト・モバイルアプリ 国・東京都との連携による熱中症対策情報・気象情報等の提供					

5

TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策【主な取組み】

会場・施設、予防運営、救護運営、情報提供・注意喚起について検討する。

- 施設設備… 日除けスペース、体調不良の方の休憩所、冷風機を設置



- 飲料供給… 飲料販売、ペットボトルの持込み検討中(一定の条件下)



- 予防運営… 積極的な声掛け、スポーツプレゼンによる注意喚起、予防啓発うちわ配布、ストレス軽減、朝顔フラワーレーン



- 救護医療… ファーストレスポンダー巡回、観客用医務室・救急車の適正配置
早期発見と対処を行い重症化を防ぎ、再観戦できる環境整備



- 情報発信… 会場での視聴覚的な案内での注意喚起に加え、大会Webサイト、モバイルアプリ、TOKYO2020ID登録者メール
観客ガイド、省庁作成リーフレット活用

TOKYO 2020

6

2-(1) 観客向けの暑さ対策【救護運営①】

早期の発見と対処で重症化を防ぎ、再観戦できる環境を整備する。

予防・発見

- 開場から閉門まで絶え間なく監視
- ファーストレスポンダーによる積極的な声掛け

救護搬送

I度:
応急処置と見守り

日本救急医学会
熱中症分類2015
に基づく診断

救護搬送

- 現場処置
- 涼しい環境下での休息
- ・経口補水液による速やかな電解質補給

再観戦

II度: 医療機関へ
III度: 入院治療

- 救急搬送
- ・重症度判断に基づく速やかな救急搬送

集中治療

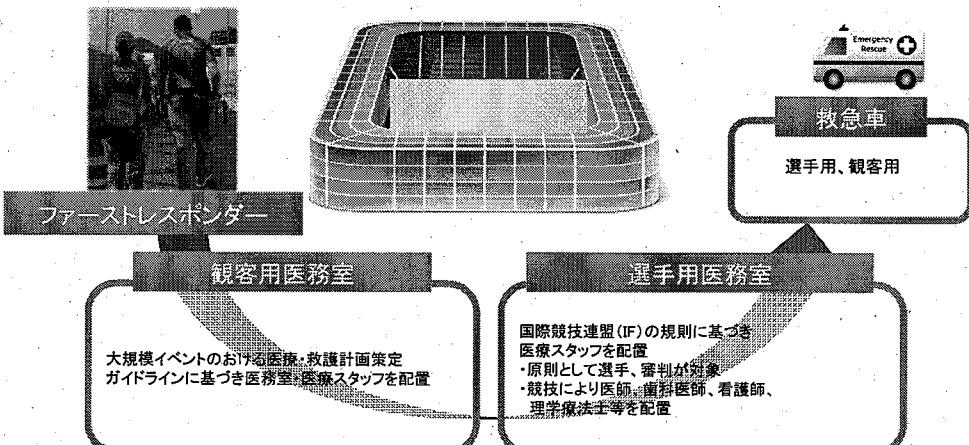
※救急搬送を減らして地域医療への負担軽減。

7

TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策【救護運営②】

選手用/観客用の医務室・救急車・ファーストレスポンダーを適正に配置する。



※競技会場における大会時の医療サービスは、医師会等の関係機関の協力を得ながら、人的配置や諸要件を決定していく。

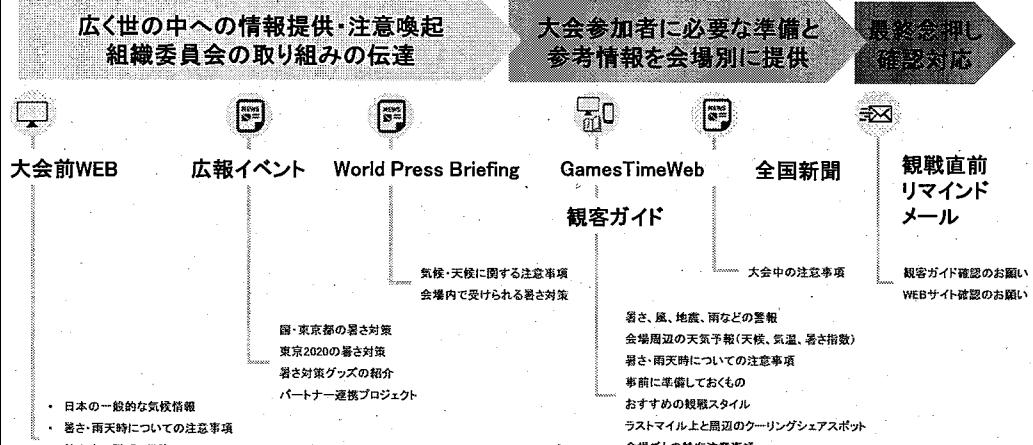
8

TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策【情報発信①】

【段階的な情報発信内容】

現在 2019年6月 10月 2020年2月～5月 大会中 (各自観戦数日前)



9

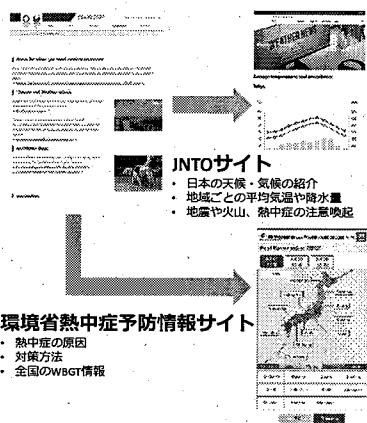
TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【情報発信②】

【大会公式Webサイトのイメージ】

大会前

Webサイト
JNTOや環境省と連携し日本の天候の特徴の紹介や
熱中症対策方法、全国の暑さ指数（WBGT）を提供。

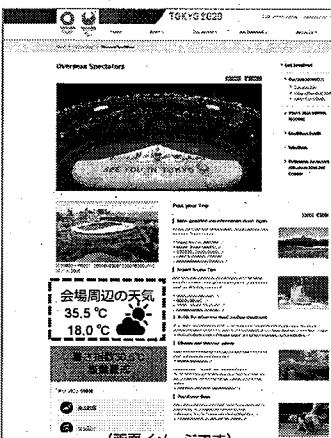


環境省熱中症予防情報サイト

- ・熱中症の原因
- ・対策方法
- ・全国のWBGT情報

大会期間中

大会公式Webサイト
位置に応じた情報の配信や、プッシュ通知を活した注意喚起を行う。



A.会場ページ

会場周辺の天気予報詳細。

- ・最新の今日と明日の天気予報。
- ・最新の7日間程度の天気予報。
- ・会場周辺の暑さ指数。
- ・その日の暑さ指数を表示。

B.観客向けページ

熱中症予防の対策や事前情報。

- ・熱中症リスクや対策に関する情報
- ・提供する。

C.プッシュ通知(モバイルアプリ)

暑さに関する注意喚起情報。

- 1日に数回、定期的に通知を配信することで、事前に飲み物や衣服の準備をしてもらう。

例：「日中は35度を超えます。こまめな水分補給などで熱中症を予防しましょう」

各種警報。

緊急地震速報、津波警報、噴火速報、

気象特別警報、熱中症情報、など。

※発報の閾値は要検討

(画面イメージです)

TOKYO 2020

10

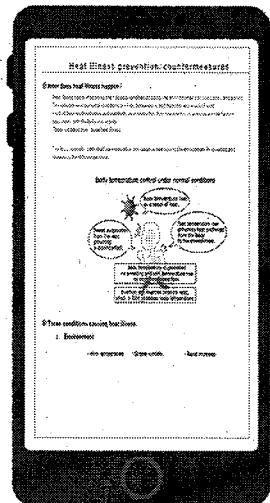
2-(1) 観客向けの暑さ対策 【情報発信③】

【モバイルアプリのイメージ】

A.会場ページのイメージ



B.観客向けページのイメージ



A.会場ページ

- ・会場周辺の天気予報詳細
- ・会場周辺の暑さ指数

B.観客向けページ

- ・熱中症予防の対策や事前情報

C.プッシュ通知(アプリ)

- ・暑さに関する注意情報
- ・各種警報

11

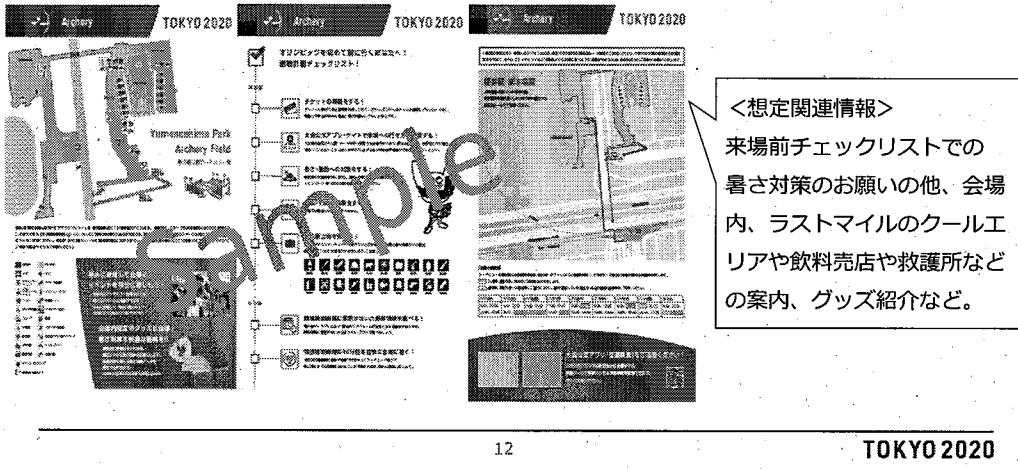
TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【情報発信④】

【観客ガイドブックイメージ】

2020年5月公開予定

競技・会場ごとに作成しチケット購入者に届けるデジタルガイドブック
会場ごとに注意事項や提供サービス、事前準備のお願いを丁寧に観客に伝えていく。



2-(1) 観客向けの暑さ対策 【情報発信⑤】

- 身近な暑さ対策についての情報提供 -

熱中症のリスクと予防策について、専門家の知見を得ながら、分かりやすい情報提供を行い、観客の皆様も自ら予防に努めていただけるよう、発信に努める。

『=イベント主催者・施設管理者のための=夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2019』を参考に作成

(発信・呼びかけの例)

- 喉が渇いたと感じる前に、こまめな水分補給を。
- スポーツドリンク（電解質飲料）等で速やかに体内吸収。
- 屋内会場でも油断せず、体調管理にご留意ください。
- 気分が悪くなったら、お早目に大会スタッフに声をかけて下さい
- 欠食や睡眠不足のままの観戦はしないよう気をつけましょう

➡ この夏、身近な暑さ対策のアイディア募集イベントを実施（後述）

13

TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策【情報発信⑥】

－高齢者や子どもへの取組み－

暑さに対して皮膚の感覚機能が低下している傾向にある高齢者や、体温調節機能が十分に発達しておらず、地面からの照り返しの影響が大きい子どもに対しては、重点的に対策を行います。

(取組みの例)

高齢者や子どもに対する注意喚起や積極的な声掛け

- ・喉が渴いていなくても水分補給をする。

- ・決して無理をせず、日陰で休憩を取る。

- ・ご家族や同伴の方からも声掛けをして頂く。

事前の情報提供

- ・「学校連携観戦チケット」で来場する子どもたちに

- 教育委員会・学校を通して、暑さ対策に関する情報提供を行うとともに、誘導オペレーションを検討。

2-(1) 観客向けの暑さ対策【情報発信⑦】

－障がいのある方への取組み－

健常者への暑さ対策に加え、体温調節が難しい方や車いすの方、補助犬に対して、国とも連携しつつ配慮していく検討を行います。

(取組みの例)

積極的な声掛けを行い、体調不良者の発生を未然に防ぐ。

申し出を頂いた方には、体調不良の方の休憩所の利用をお勧めする。

障がいのある方が優先的に入場できるようなアクセシブルレーンを整備する。

補助犬に対する配慮として、補助犬を連れていく動物病院

- リストを関係諸機関と連携して作成し、各会場に置くことを、

- 今後検討していく。

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【情報発信⑧】

－訪日外国人への取組み－

大会公式Webサイトの外国語対応や情報連携先強化を図り、国とも連携し、外国人への効果的な発信方法やニーズ検討を行います。

- 大会公式Webサイトの暑さ対策情報の外国語対応
(英・中(簡体字)・韓・仏・西)
- 情報連携先を増やして提供する内容を強化
※ 現在は環境省「熱中症予防情報サイト」、政府観光局
- 観光庁監修モバイルアプリ“Safety tips”の情報を活用し、
プッシュ通知を利用した情報発信を行うことを検討中。
- アンケート調査の実施
今夏、国(環境省や観光庁)と連携してアンケート調査を実施

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【大会時のイメージ①】

ついに近づいてきた大会本番。

定期的に届くTOKYO2020からのメール。

大会公式Webサイトや観戦ガイドで目にする。

日本の気候と熱中症への注意や対策。

そういえば、ニュースでもよく

東京大会の暑さについて耳にした。

ちょっと注意して

旅の服装や準備が必要なものを用意しよう。

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【大会時のイメージ②】

来日・街中の移動

事前の情報のおかげで
気候に合った服装で快適に過ごせそう。

初めての日本で不安だったけど
街中も地下鉄や電車、バスが便利で
炎天下の中を長時間歩くことなく移動できる。

18 TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【大会時のイメージ③】

観戦当日

観戦日の朝、大会公式Webサイトで
会場周辺の気温を確認。
アプリで会場までのルートを検索して
会場の駅をめざす。
移動中も近辺のクールスポットの検索や
暑さ指数の注意喚起情報が
プッシュ通知で送られてくるから安心して移動できる。

19 TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【大会時のイメージ④】



2-(1) 観客向けの暑さ対策 【大会時のイメージ⑤】



2-(1) 観客向けの暑さ対策 【大会時のイメージ⑥】



会場内（FOH～観客席）

ついに会場の中へ！
来る途中、配布された丸い紙のチラシ。
よく見ると、暑さの注意や対策情報が載っている。
しかも、扇げるから便利。
会場の地図をみると、飲料水の売店や
休憩所もあるらしい！
暑くなってきたら無理をせず、クールダウン。
水分補給をして休憩してから再び観戦しよう。

22

TOKYO 2020

2-(1) 観客向けの暑さ対策 【大会時のイメージ⑦】



会場内（FOH～観客席）

観戦会場内の売店では
冷えた飲料も揃っていてうれしい。
ライセンスショップの暑さ対策グッズも楽しかった。

会場の中ではファーストレスポンダーが巡回し、
体調が悪くなった時には、会場ごとに
医务室があるので診断を受けることもできる。

23

TOKYO 2020

2-(2) 大会ボランティアを含む大会スタッフ向けの暑さ対策①

認定		大会ボランティアを含む大会スタッフ	監修
施設設備	・日除けスペース ・休憩場所 ・休調不良の方用休憩所	・ダイニングエリア ・休憩所	・アスレチックラウンジ ・第一回休憩所
日射遮蔽設備の配置検証		・飲料提供 ・飲料販売 ・給水	・飲料供給
飲料供給	・飲料販売 ・ペットボトル持込みでの検討	・適切な休憩の取り方 ・休調管理ブック活用の検討 ・警備員用サングラス着用	・施設スクエア一帯 ・施設内樹木、車上基準設定 ・十分視認に難する ドアの位置の開閉名詠検討 ・ドアノブ用具
飲料供給強化		・観客用医務室 ・救急車	・選手専用医務室 ・救急車 ・医療相談バス検討
予防運営	・積極的な晒かけ ・太陽光への曝露注意検討 ・予防啓発うち配布 ・ストレッサー軽減 ・朝涼のフロア	・共通事前研修等における 理解促進	・F/NF、NOC、NPCを 構成した各委員会
適切な休憩の取り方			
救護運営	・選手専用医務室 ・救急車 ・アスレチックセンター巡回 ・医務所等の設置		
休調不良者一次対応			
情報提供	・大会ウェブサイト ・モバイルアプリ ・CRM/チケットシステム ・顧客力マップ ・啓発リーフレット		
注意喚起			
外国人への感染症対策			
		オレンジ部分は 今後検討強化が必要なテーマ	
			TOKYO 2020

24

2-(2) 大会ボランティアを含む大会スタッフ向けの暑さ対策②

《基本的な考え方》

- ☑ボランティアは、自主的な活動であることを踏まえ、自らの体調を最優先して活動する。
- ☑共通研修等で、定期的な自己管理の重要性を周知し、大会当日もリーダー等からも注意を促す。
- ☑暑さを考慮した適切な休憩の取り方を検討していく。
厚生労働省、環境省が公表している関連法令や関連資料等を参考に検討していく。加えて、所管省庁及び暑さ対策の専門家（産業医をはじめとした医療関係者）へのヒアリングを行い、専門的な見地から活動時間の妥当性を確保する。

25

TOKYO 2020

2-(2) 大会ボランティアを含む大会スタッフ向けの暑さ対策③

《事前研修による自己チェックの徹底と予防の呼びかけ》

大会ボランティアを含む大会スタッフ向け研修

共通研修等を実施し、基礎知識の提供と予防の呼びかけを行う。

- ・体調管理ブック活用の検討

- ・熱中症発症に影響を与えるおそれのある持病をお持ちの方は
事前に主治医と相談するよう注意喚起

リーダー研修

熱中症の専門研修・リーダーシップ研修での周知徹底

- ・管理者向け研修(役割別研修・リーダーシップ研修で活用)

- ・自己管理していることを確認するチェック表作成

2-(2) 大会ボランティアを含む大会スタッフ向けの暑さ対策④

《体調管理ブックの活用の検討と暑さ対策グッズの配布》

体調管理ブックの活用の検討

(飲料・塩分の摂取等の自己チェック及び徹底)

暑さ対策グッズの配布の検討

(飲料、塩分、アイスクリーム、冷却剤等の検討)

2-(3) 選手向けの暑さ対策①

項目	大会が計画する内容	選手
施設設備	日除けスペース、冷風機 休調不良のため休憩所	・タイマークリア ・休憩所
日射遮蔽設備の配置検討		・アスリートラウンジ ・選手用休憩所
飲料供給	飲料販売 ・ペットボトル持込みの検討	・飲料提供
飲料供給強化		
予防運営	適度的な声かけ 緊急アドバイス等中止基準 警防啓発充ち石配布 スティンレス瓶 銀色のフローラル	・適切な休憩の取り方 休調管理ツール活用の検討 飲食質量化・グラス耐用
適切な休憩の取り方		
救護運営	観客用医务室 救急車 ワットストリート・ゲート巡回 救護所等の設置	・観客用医务室 ・救急車
休調不良者一次対応		
情報提供	大会Webサイト モバイルアプリ メール(チケット・メール 観客ガイド)	・IF/NF、NOC、NPCを通じた発信
注意喚起	啓発リーフレット	
外国人への感染情報発信		

28

TOKYO 2020

■レンジ部分は
今後検討強化が必要なテーマ

2-(3) 選手向けの暑さ対策②

① 暑さを考慮した競技スケジュールの変更

- ・オリンピックは、IOCや各IF、その他関係者と協議の上、マラソン・競歩、ラグビー、自転車(マウンテンバイク)で、スタート時間を早めるなど競技スケジュールの変更を決定。

② IF、NOC/NPCに対する気象情報の提供

- ・各IF、NOC/NPCに対して、各国や地域の選手が東京2020の気象状況を想定したトレーニングができるよう、NOC/NPC Visitや選手団団長会議等の機会に気象情報を提供。

③ IFと連携した競技別暑さ対策の検討

- ・各IFと連携し、競技別暑さ対策の具体的な検討を推進中。

④ パラリンピックにおける暑さ対策

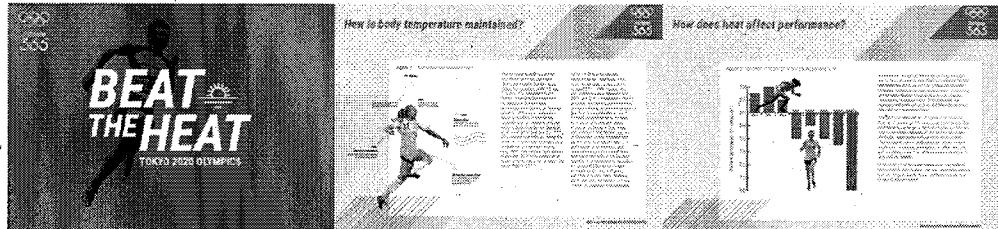
- ・マラソンを中心に競技スケジュールの変更をIPCと検討中。
- ・専門家を交え、脊髄損傷の選手等について長時間に及ぶ屋外競技対応協議。

29

TOKYO 2020

2-(3) 選手向けの暑さ対策③

- ☑ IOCの医療専門部会であるメディカルエキスパートグループによりアスリート向けに暑さ対策の留意事項を作成中。
- ☑ 組織委員会からNOC向けに配布、説明することを検討中。



30

TOKYO 2020

3 今夏の新たな取組み

「暑さ対策」のテストイベント

「テストイベント」における暑さ対策の試行

Wave 1 の屋外競技のテストイベントを中心に、東京都と組織委員会が、政府、IF、NFと連携して実施。

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| ①ビーチバレーボール
2019.7/24~28 IF/NF | (潮風公園) |
| ②ボート
2019.8/7~11 IF/NF | (海の森水上競技場) |
| ③トライアスロン
2019.8/15~18 IF/NF | (お台場海浜公園) |
| ④ホッケー
2019.8/17~21 組織委 | (大井ホッケー競技場) |
| ⑤マラソン
2019.9/15 NF | (マラソンコース周辺) |

訪日外国人に向けた試行

- 英語版リーフレット配布
- アンケート調査
(観光庁・環境省連携)

アイディアソン実施など

- アイディアソン実施
- 夏のスポーツイベント視察

来夏に向けて「暑さ対策」の検証を行い、知見を本大会に活かしていく

31

TOKYO 2020

3-(1) テストイベントにおける暑さ対策の試行①

東京都と組織委員会が、政府やIF・NFと連携して検証を行いテストイベントでの検証結果も踏まえ、本大会の暑さ対策について検討を進めていく。

競技名	主な実施場所 ※一部調整中	大会名	主催
ビーチバレー・ポール	潮風公園	7月24日(水) ~28日(日) FIVBビーチバレーボール ワールドツアーアジア・オセania 4-star 東京大会	国際バレー・ポール連盟
ボート	海の森水上 競技場	8月7日(水) ~11日(日) 2019世界ボートジュニア選手権 大会	国際ボート連盟
トライアスロン	お台場海浜公園	8月15日(木) ~18日(日) ITUオリンピック クオリフィケーション イベントほか (パラトライアスロンも開催)	ITUオリンピッククオリ フィケーション イベント東京大会実行委 員会(仮称)
ホッケー	大井ホッケー 競技場	8月17日(土) ~21日(水) READY STEADY TOKYO -ホッケー-	東京2020組織委員会
マラソン	マラソンコース 周辺	9月15日(日) マラソン グランドチャンピオンシップ	日本陸上競技連盟

3-(1) テストイベントにおける暑さ対策の試行②

東京都と組織委員会が、様々な観点から以下の試行を行う

○施設面

※具体的な試行内容は東京都・組織委員会が役割分担して実施致します。

- ・観客の休憩場所及び大会ボランティアを含む大会スタッフの活動環境向上策の検証
(扇風機、ウォーターサーバー、高遮光性遮熱性シート等を設置)
- ・観客の避暑環境の創出策の検証
(ミスト(大型と小型を併用)、散水チューブ、仮設型植栽ユニット(ミスト付)等)

○暑さ対策グッズの配布(各種グッズの有効性の検証)

- ・紙製帽子、紙製うちわ、瞬間冷却保冷剤、接触冷感ハンカチ、涼感マフラー・タオル等

○運営面

- ・PSA待機列状況検証
- ・暑さ指数(WBGT)の複数箇所での計測
- ・熱中症を発症させないためのシフト体制検討(適切な休憩の取り方)

○救護医療

- ・ファーストレスポンダーの巡回の実施

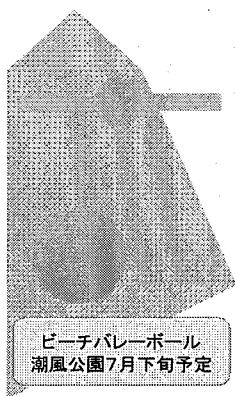
○情報提供

- ・WEBサイト・テストイベントサイトで熱中症用啓発情報発信

3-(1) テストイベントにおける暑さ対策の試行③

東京都と組織委員会が、様々な観点から以下の試行を行う

施設設備やグッズを利用された方へのアンケートや
PSA待機列状況検証、暑さ指数(WBGT)計測を実施し、
テストイベント等の検証結果やデータ共有を図り、本大会に活用していく。



ハード面	<ul style="list-style-type: none"> ○日除けサーラス型テント ○極微細ミストタワー ○体調不良の方向けの休憩スペース
ソフト面	<ul style="list-style-type: none"> ○涼感マフラータオル ○瞬間冷却保冷剤 ○ウォーターサーバー
運用・計測面	<ul style="list-style-type: none"> ○PSA待機列状況検証 ○警備員のサングラス着用状況 ○朝顔のフラワーレーン ○暑さ指数(WBGT)複数地点計測(環境省協力) ○熱中症啓発リーフレット配布(環境省協力)

3-(2) 今夏の訪日外国人に対する試行

□大会前WEBでの情報発信の強化

- ・国や関係機関との連携をさらに深め、暑さに関する情報発信の強化に努める。

□政府と連携した訪日外国人向けアンケート調査

- ・環境省 成田空港におけるアンケート調査
- ・観光庁 観光庁と連携したアンケート調査

⇒今夏のアンケートの結果で、来夏向けた情報発信に反映

3-(3) アイディアソン実施と甲子園の観察

- 東京2020として、第3回目のアイディアソンを今夏実施し、『身近な暑さ対策』をテーマにアイディア募集。暑さ対策への関心向上とエンゲージメント強化を図る。



- 夏のスポーツイベントでの暑さ対策研究
→今夏、第101回全国高校野球選手権大会の会場となる甲子園球場の新たな熱中症対策について観察を行う。

➡ 両イベントから具体的な暑さ対策を来夏の参考にする。

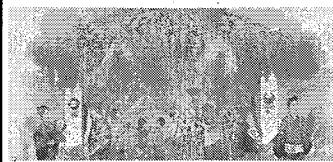
3-(4) Tokyo 2020 COOLINGプロジェクト



暑さから身を守ろう
**TOKYO 2020
COOLING**

猛暑が予想される大会本番時に暑さから身を守り、体を冷やすことで少しでも快適に過ごしていただける環境を提供することを目的としたプロジェクト。大会パートナーにも協力を呼びかけ、現在13社のパートナーが参画を表明。下記のような様々な施策を大会に向け検討中。

クール
スポット



クールアイテム
サンプリング



クール
アクティビティ



日陰や暑さをしのぐ場所を提供 暑さを和らげるグッズを配布 暑さを和らげるアクティビティ

3-（5）東京2020公式ライセンス商品「暑さ対策」商品の販売

東京2020公式ライセンス商品でも、サンバイザーやハットなどおなじみの商品から、水に濡らして首に巻くと冷却効果を感じられるアスコットタイなどの暑さ対策商品を
6月27日(木)より順次販売開始いたします。

- 販売開始日：2019年6月27日(木)より順次販売開始
- 取り扱い店舗：東京2020オフィシャルオンラインショップ
(URL:<https://tokyo2020shop.jp/>)ほか
東京2020オフィシャルショップ※一部お取り扱いのない店舗もございます。

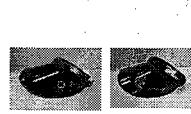
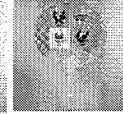
- 東京2020公式ライセンス商品「暑さ対策」商品ラインナップ※全36種 詳細別紙



アスコットタイ
東京2020オリンピックマスコット
アスコットタオル
東京2020パラリンピックマスコット



クールファン ミライワ
クールファン ソメイティ



セルクリップバイザー
東京2020オリンピックエンブレム
セルクリップバイザー
東京2020パラリンピックマスコット



クールジェルシート
東京2020オリンピックマスコット
クールジェルシート
東京2020パラリンピックマスコット